



家族と地球がよろこぶ

～イエローチェア・ハウスが目指す家づくりの新しいステップをご紹介します～

家づくりを目指して

新たなる挑戦

イエローチェア・ハウスはハウズビルダーとしてはもちろん、同時に「豊かなライフスタイル」をお届けできる良きパートナーとして様々な挑戦を続けています。設立以来、無垢材の床、自然塗料、漆喰壁など「無添加」の自然素材を使い、手間と想いをかけた「手づくり」の家をお届けしてきました。そして 2010 年。私たちは家そのものをつくる「材木（つまりはその原料となる木材）」を国産材に置き換えていくという新たな挑戦を始めました。

導かれた良質材木との出逢い

私たちは導かれるようにして求めていた材木と出逢いました。灯台下暗しとはよく言ったもので、地元茨城の奥久慈（袋田の滝などで有名）から福島・栃木にまたがる八溝山地に良質な木材がありました。しかし良質な木材＝高品質な材木とはなりません。多くの手間と技術が必要になるのですが、幸いなことに高度な乾燥技術と日本最大級の規模をもつ製材工場がその麓にあったのです。そこでイエローチェア・ハウスではスタッフ総出で実際に山に足を踏み入れ、森で育った樹木がどのように伐採され材木から材木になっていくのか、その過程を自分たちの目と手でしっかりと確認してきました。

イエローのスタッフが本当の材木を求めて奥久慈へ出発！



日本の杉やヒノキは、そのほとんどが戦後に国策で植林されました。今や日本のあちこちに60年生の良質の木があります。もちろん、私たちが住むここ茨城にも。



実際に山向に行き、伐採せ目の当たりをしました。



この美しい切り株。200の大工もうっとりでした。



広く管理された製材工場内。まさに圧巻の一言です。



シリアルナンバーなど材木の詳細が一本一本に刻印されています。

イエローチェア・ハウスが国産材を使うワケ

イエローチェア・ハウスが国産材を使う決意をしたワケは、単なる情報だけでなく、実際に森に入り、自分たちの五感で確かめて得た理解と直感に支えられています。まず創設以来求めてきた自然素材（建材）として国産材は素晴らしい品質を備えています。これはハウズビルダーとして最重要視した点ですし、その一点だけでも使う価値はあります。しかし私たちが注目し、そして感嘆したのは、国産材の使用が私たちの住む地域や地球の環境保全と深く関わっているという点です。それは住まう人だけでなく、みんながよろこぶ家づくりにつながっていきます。



1 本当の無添加&自然素材だから安心できる！

ちょうど食材に産地が明記されているように。また各製品にシリアルナンバーがついているように。私たちが巡り逢った材木には「合法木材マーク」「JAS 認定工場マーク」「含水率」「(強度を示す) ヤング係数」「製材寸法」、そして「シリアルナンバー」が一本一本に刻印されています。ですからこれ以上安心な材木＝建材はないといってもいいでしょう！担当者の方は「業界的にもそこまでやるのってバカ扱いされるんですけどね…」とおっしゃっていましたが、よく考えてみれば、材木の出所がわからない＝どこで伐採されたの？（違法伐採かも…）、どのように製材されたの？（有害な防腐剤が使われているかも…）といった不安や疑問が消えないということでもあるわけです。



2 CO2削減で環境保全に貢献できる！

木材は自然の恵みですから製造時のエネルギーが極めて少なく「エコマテリアル（エコロジーな材料）」と呼ばれています。また土に還り再生していく循環プロセスは、環境に無理なく持続できるロハスな建材と言えるでしょう。さらにその木材を国産材に求めれば、輸送コストと CO2 排出が大幅に削減されます。食材では地産地消が推奨され、輸送にかかる距離＝エネルギーを削減しようとする「フードマイルズ」という考えが導入されています。木材においても「ウッドマイルズ」という考えが提唱され様々な研究や試算（※1）が行われています。

※1 仮に現在国内で新築される木造住宅をすべて国産材や150km 圏内の地域材でつくった場合、木材の輸送過程に排出される CO2 は年間約 100 万トン削減される。（ウッドマイルズ研究会）



3 郷土の山や森を守ることができる！

日本における国産材の潜在供給力は十分あるにも関わらず、輸入材への依存度は先進国の中でも突出しています。理由は様々ありますが国産材の需要の低下→林業の後継者不足→供給不足→コスト高といった悪循環に陥っている点は否めません。そして多くの森や山で間伐が行われなくなりました。結果、高木が密生し幹の太さが十分にならなったり、日光が遮られ低木や下草などが育たなかつたりという状態におちいつています。こうなると地表の保水力が低下し土砂崩れのおきやすい山になってしまいます。つまり、国産材の積極的な活用は、私たちの郷土の山や森を守ることに繋がっているのです。



4 家族と地球がしあわせになる！

そこに住まう家族が安心して暮らせるだけでなく、地域や地球にもやさしく、共による喜びを共有できる家づくり。イエローチェア・ハウスは、そんな家づくりを目指していきます。まだ 100% 国産材にするにはコスト面など様々な障害があり、当初はオプションになりますが段階的に標準仕様としてご提供していきたいと考えています。この想いに共感してくださる方が増えれば、日本の住宅事情や森林環境はきっと明るなものになっていくでしょう。自分たち家族の安心と同時に未来の子供たちに素晴らしい地域と地球の環境を残してあげられるならば、きっとカラダもココロも居心地のいい家、みんながしあわせになる家になるはずですよ。



YELLOW CHAIR HOUSE
The House for Happy Life and Loving Family

イエローチェア・ハウス 株式会社 住建 茨城県知事許可：(般-18) 第19198号 〒311-3112 茨城県東茨城郡茨城町常井1204-1 TEL.029-292-0051 FAX.029-292-8569



無添加
Natural



幸せ
Happiness



手作り
Handmade

イエローチェアハウス

検索

www.yellowchairhouse.jp/